

福祉科 「介護過程」	単位数	2 単位
	学科・学年	介護福祉科（2 年）

（１）学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	「人間と理解」・「こころとからだのしくみ」・「介護」の領域で学んだ専門的な知識と技術を統合し、介護サービス利用者の尊厳と自立生活支援の観点から介護過程が展開できる能力と態度を身に付ける。
使用教科書 副教材	介護過程（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座 9 「介護過程」（中央法規）

（２）評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 介護過程に関心を持ち、展開のプロセスを意欲的に理解しようとする態度を身に付けている。 思考・判断・表現 介護過程について考え、利用者のニーズを理解し、介護従事者として必要な視点とチームアプローチについて理解できる。 技能 介護過程に必要な情報を収集し、作成した介護過程を展開し発表できる。 知識・理解 介護過程に関する基本的知識を身に付け、「アセスメント」・「計画の立案」・「実施」・「評価」の４つの意義と過程を理解している。
評価方法	評価の観点にしたがい、学習プリントの記入・定期テスト・介護過程の展開の発表により総合的に評価する。

（３）授業の受け方および学習方法

授業の受け方および学習方法	介護過程に関する基本的知識を身に付け、「アセスメント」・「計画の立案」・「実施」・「評価」の４つの意義と過程を理解する。 現場実習で出会った事例を整理して、本校様式のアセスメント表に書き表し利用者のニーズを把握する。具体的事例に基づき演習を行う。
---------------	---

（４）学習計画

「１学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護過程の意義と目的 ・介護過程がめざすものの	・根拠にもとづいた介護実践には、利用者視点での生活課題の解決を目的とした介護過程が必要であることを学ぶ。 ・介護過程における各展開過程を理解する。 ・介護過程の目的を、日本国憲法にある基本的人権や生存権、幸福追求権を根拠に理解し、実際に展開していく中で求められる視点について学ぶ。

「2 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護過程の展開 ・ 情報収集とアセスメント	・ アセスメントの目的や実施をしていくうえで必要とされる能力について理解すると共に、ICF の視点をいかした望ましいアセスメントのあり方を学ぶ。 ・ 情報収集に関する手段や実際に収集していく中での留意点を学び、介護過程の中で情報収集が果たす役割について理解する。 ・ 収集した情報の解釈から関連づけおよび統合化、その後の課題の明確化までの一連の流れについて学ぶ。 ・ 抽出された課題をいかに利用者のニーズに対応した形にしていくか、その方法について考える。 ・ 得られた情報をいかに整理するか、フェイスシートへの記載を中心にその方法を理解する。

「3 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護過程の展開 ・ 生活課題と目標の設定	・ 介護目標を長期、短期に設定することで、目標達成に向けた段階的な取り組みの必要性を学び、目標設定の留意点について理解する。 ・ 介護支援専門員が作成する施設および居宅におけるケアプランと介護職が作成する個別介護計画の概要、互いに果たしている役割を理解する。 ・ 介護目標の達成には、介護職として利用者、家族、他職種との課題や情報の共有が必要不可欠であることを理解する。

福祉科 「介護過程」	単位数	2 単位
	学科・学年	介護福祉科（3 年）

（１）学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	「介護」の専門的な知識と技術を根拠とした、客観的で科学的な思考過程による介護過程を展開できる。また目の前にいる福祉サービス利用者の尊厳と自立生活支援の観点から介護過程を展開できる能力と態度を身に付ける。
使用教科書 副教材	介護過程（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座 9「介護過程」（中央法規）

（２）評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 介護過程に関心を持ち、展開のプロセスを意欲的に理解しようとする態度を身に付けている。 思考・判断・表現 介護過程について考え、利用者のニーズを理解し、介護従事者として必要な視点とチームアプローチについて理解できる。 技能 介護過程に必要な情報を収集し、作成した介護過程を展開し発表できる。 知識・理解 介護過程に関する基本的知識を身に付け、「アセスメント」・「計画の立案」・「実施」・「評価」の４つの意義と過程を理解している。
評価方法	評価の観点に従い、出席状況・学習プリントの記入・ペーパーテスト・介護過程の展開の発表等により総合的に評価する。

（３）授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	介護過程に関する基本的知識を身に付け、「アセスメント」・「計画の立案」・「実施」・「評価」の４つの意義と過程を理解する。現場実習で出会った事例を整理して、本校様式のアセスメント表に書き表し利用者のニーズを把握する。さらに事例を用いた演習により介護過程を展開する方法を具体的に学ぶ。
-------------------	--

（４）学習計画

「１学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護過程の展開 ・介護計画の立案 ・介護計画の実施と評価	・介護計画の概要について理解すると共に、介護職として計画を立案していくうえで求められる視点について学ぶ。 ・個別援助計画がもつ意義と目的について理解すると共に、介護目標の実現に向けた取り組み方を具体的に考察する。 ・介護計画を実施してくなかで行う実施状況の把握や記録の意義、目的を理解すると共に介護職として求められる視点を考察する。 ・介護過程における評価の意義、目的を理解し、その評価の際の留意点について介護職の視点で考察する。

「2 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護過程の実践的展開 ・ 介護過程の展開の実 際	・ 高齢者や障害のある人の事例を活用し、ICF の視点による実 際のアセスメントの方法を具体的に理解する。
介護過程とチームアプ プローチ ・ 介護過程とチームア プローチの意義	・ チームアプローチがもつ意義を理解すると共にチーム運営の 望ましいあり方を学ぶ。

「3 学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護過程とチームアプ プローチ ・ 介護過程とチームア プローチの実際	・ 事例を題材の施設での専門職による連携のあり方を理解する と共に、チームアプローチをはかるうえで介護職に求められ る姿勢を学ぶ。 ・ 事例を題材に在宅福祉サービスでの専門職による連携のあり 方を理解すると共に、チームアプローチをはかるうえで介護 職に求められる姿勢を学ぶ。